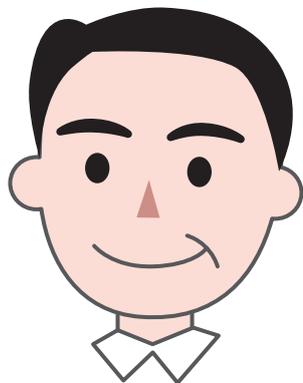


市のお金の使い方

私が疑問にお答えします。



おがさわら市長

市はどんな風にお金をやりくりしているのかしら？



湯ノ町 かなさん

市はどんなことにお金を使うんだろう？



湯ノ町 大鬼さん

平成25年度の市の予算は、3月に行われた市議会の第1回定例会で議決され、成立しました。
今号では、平成25年度予算について、おがさわら市長本人が、皆さんの疑問に答える形で、表やグラフを使ってわかりやすく解説します。

平成25年度一般会計予算は190億7,500万円となりました

市の3つの会計（※）のうち、福祉や教育、経済対策など市の基本的な事業を行うのが『一般会計』です。
※家庭でいうところの財布に当たります。

平成25年度の一般会計予算は、前年度に比べ3億3,600万円少なくなりました。北海道から受託していた道道整備事業が終了したことや職員への給料の支払い、借金の返済が減少したことが主な要因です。



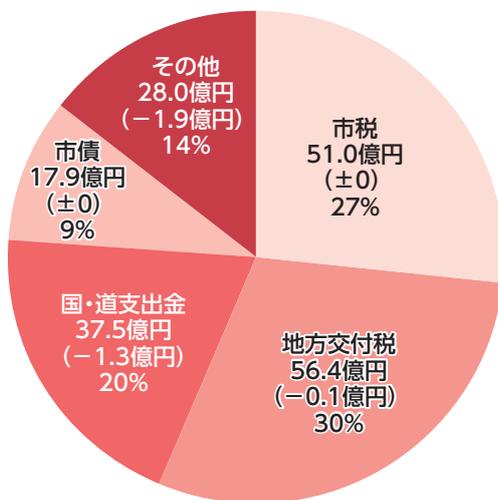
歳入（収入）

皆さんにお支払いいただく『市税』と国から交付される『地方交付税』が収入の半分以上を占めています。



市民からの税金より国から交付される地方交付税が多いんですね？

地方交付税は国の状況で増減が大きいため、安定的な財政運営には市税収入を大きくすることが肝心ですが、登別では地方交付税が市税を上回っています。



市税：市民税や固定資産税など市がいただくお金

地方交付税：人口や税収に応じて国から交付されるお金

国・道支出金：特定の事業に対し国や道から交付されるお金

市債：市の借金

その他の収入：公共施設の使用料やサービスの手数料、基金（貯金）などを下ろしたお金などが含まれています

総額190.8億円

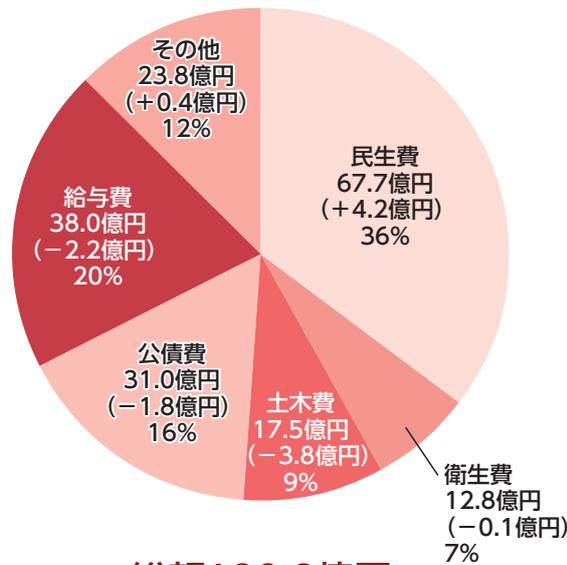
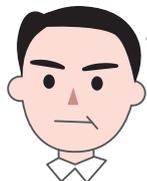
※グラフ内()は対前年度増減額です。

歳出 (支出)

医療や福祉に使う『民生費』が支出の約4割を、借金返済のための『公債費』と職員に給料などを支払うための『給与費』がそれぞれ約2割を占めています。



不景気で生活保護費が増えたり、お年寄りの医療費が増えているため、民生費は増加しています。逆に、職員の数を減らしている影響で、給与費は減少しています。



民生費：医療や福祉などに使うお金

衛生費：市民の健康増進やごみ処理などに使うお金

土木費：道路や公園、市営住宅などの建設や維持管理に使うお金

公債費：借金を返済するためのお金

給与費：職員に給料や退職金を支払うためのお金

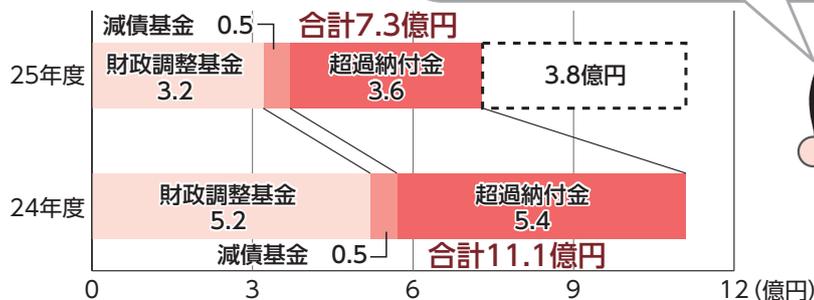
総額190.8億円

※グラフ内()は対前年度増減額です。

平成25年度の予算編成では、貯金を3億8,000万円下ろしました

平成25年度の支出を見積もったところ190.8億円となりましたが、収入は187.0億円しか見込めなかったため、基金(貯金)から3.8億円を下ろしました。

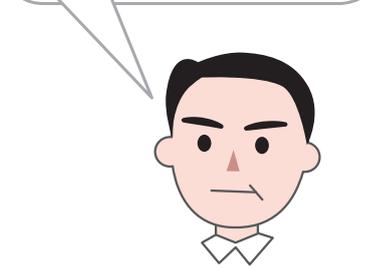
平成25年度の市の貯金は、前年度末から3.8億円減ってしまいます。しかし、今後訪れるかも知れない緊急事態(収入の急激な減少など)に対応するためには、皆さんの家計と同じく一定の蓄えが必要ですので、できるだけ貯金を下ろさないよう、支出を節約し、収入の増加に努めなければなりません。



下水道会計や介護保険会計が前年度より少なくなったため、特別会計合計では、1億6,620万円の減少となりました。また、水道事業会計予算は、前年度より3,740万円の減少となりました。

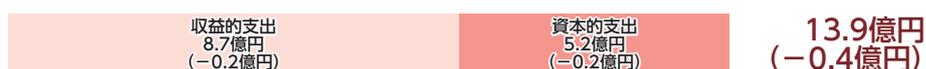
平成25年度特別会計予算は合計136億1,590万円となりました

市の3つの会計のうち、保険料や使用料など用途が決まった収入で運営する事業を行うのが『特別会計』です。市には7つの特別会計があります。



平成25年度水道事業会計予算は13億8,560万円となりました

市の3つの会計のうち、民間企業同様、独立採算を原則とする事業を行うのが『企業会計』です。市では水道事業が企業会計で運営されています。



平成25年度予算の紹介
市のお金の使い方

広報のぼりべつ2013年4月号



平成25年度は、市民の皆さんのニーズを踏まえ、4つの分野（防災、経済、福祉、子育て・教育）を重視して予算を編成しました。

平成25年度の主なお金の使い道

市は、平成25年度、これまで説明した予算によりさまざまな事業を行います。主な取り組みの一部を紹介します。

防災分野【安心して暮らせる登別の創造】

総合防災訓練の実施 219万円

地震や大津波、大雨を想定し、防災関係機関や地域住民などが参加する、総合防災訓練を実施します【隔年実施】。

防災マップのリニューアル 800万円

津波浸水予測図や大津波時の高台避難場所などを反映して防災マップをリニューアルし、全戸に配布します【新規事業】。

津波避難ビル看板の設置 129万円

津波避難ビルに指定した建物や建物周辺の電柱に、避難ビルに誘導するための看板を設置します【新規事業】。

非常用発電設備の購入 103万円

庁舎が停電に陥った場合に備え、通信機器のバッテリーやガソリン発電機などを購入します【新規事業】。

鷺別小学校の建て替え 6,600万円

平成26～28年度に予定している鷺別小学校建て替えのため、実施設計を行います【新規事業】。

経済分野【オール登別による地域の活性化】

空き店舗への出店者に対する支援 180万円

指定区域で空き店舗を活用して新規出店する事業者に対し、賃借料の一部を補助します。

商店街活性化の取り組みに対する支援 500万円

商店街活性化に向けた取り組みを行う商店会などに対し、経費の一部を補助します【新規事業】。

住宅用太陽光発電システム設置者への補助 250万円

市内業者により住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対し、設置経費の一部を補助します。

ブランド推進事業への支援 365万円

登別ブランド推奨品のPR活動やご当地グルメの研究など、特産品のブランド化に取り組む協議会の活動を支援します。

観光インフォメーション事業への支援 400万円

登別観光協会が登別温泉地区で開設するインフォメーションプラザを支援します。

登別地獄まつり50回記念事業への支援 500万円

登別地獄まつり50回を記念した事業を実施する登別観光協会に対し、経費の一部を補助します【新規事業】。

福祉分野【新たな時代に即した地域福祉の推進】

社会福祉協議会への支援の拡充

3,760万円

市はこれまでも社会福祉協議会の活動を支援してきましたが、平成25年度は、同協議会の体制強化を図るため補助金を増額します。

特別養護老人ホーム新築への支援

1億7,800万円

市内で特別養護老人ホームを新設する社会福祉法人に対し、無利子で建築資金を貸し付けます【新規事業】。

障がい者相談員の設置

12万円

障がい者本人や保護者の相談に応じるため、身体・知的障がい者相談員を設置します。

子育て・教育分野【子どもたちを教え育む体制の充実】

妊婦や乳幼児子育てへのサポート

2,680万円

妊婦対象のマタニティ教室、乳幼児の訪問指導など、妊婦や乳幼児子育てをサポートします。

子育て支援センターの運営

855万円

子育て支援センターを設置して、保護者への育児相談や子育て講座などを行います。

スクールソーシャルワーカーの配置

179万円

いじめや不登校の解決に向けて学校を支援するため、スクールソーシャルワーカーを配置します。

心の教室相談員の配置

180万円

生徒の悩み相談に応じるため、全中学校に心の教室相談員を配置します。

学校図書館司書の配置

142万円

児童の読書活動を推進するため、小学校の学校図書館に学校図書館司書を配置します【新規事業】。

学校支援地域本部事業の実施

285万円

地域住民や教育経験者の協力により、中学校区ごとに地域の特色を生かし、学校を支援する事業を実施します。

市は私たち市民の税金でいろんな取り組みを行うんですね。



市のお金のやりくりがわかったような気がするわ。



市は、平成25年度も、市民生活向上のため、着実にこれらの取り組みを行うことはもちろん、財政悪化で市民サービスが滞ることのないよう、健全な財政運営に努めていきます。



この特集に関する問い合わせは……財政グループ (☎⁰⁵1331)